

エポックメイキングな平成 22 年度

〈東日本大震災とふくしまUD〉



FUD 理事長 佐々木善壽

史上 4 番目のマグニチュード 9.0 の大地震の脅威に見舞われ、100 年に 1 度の大地震に遭遇して、多くの人が人生観や価値観を変えたり変えようとしてる事と思います。「自分の人生にこんなことが…」しかし戦後 65 年からすれば敗戦を経験している人は 2 度目の〈人生のやり直し〉の渦中で、

何を考え糧にしてこれからの人生を生きてゆくのでしょう…。

本当に人生の厳しさ現実の酷さを味わう事になり、否応なくいろいろな意味で再出発を余儀なくされています。

エネルギー問題を始めに、個々の在り方や生き方を含めて「公共」の大きさや重さを現実として対峙し、情報（信憑性）の在り方・生活スタイルや食糧問題・経済活動・教育問題や市民・専門家（学識者）の有り様まで、本当の意味で 21 世紀型に転換すべき運命を、衝撃を持って当てがわれたような気がします。正に「不都合な真実」が暴き出され、地球危機に対し一向に目覚められない人間に天が下した采配とでも思わざるえません。

田原総一郎さんが「第二の敗戦」と言っていました。戦後の復興に等しい厳しい過酷な現実を、今活躍する戦後生まれの世代が中心になって、現状を直視し冷静な思慮の下に大きく腕を広げ利害を押しえながら、人間を信じ暖かい手をつなぎ被災者を揺ぎなく支え励まし続けられるか…。利潤先行型から社会還元型のビジネスや社会活動が益々求められるのが 21 世紀の生き方やビジネスの在り方のように思われます。

私達の市民運動ユニバーサルデザインも、啓蒙普及期から実践型のイベントや事業をと、一昨年より UD 専門団体としての実践活動を進めています。今回の大災害を受けて尚一層我々 UD 運動を志す原点を踏まえ、今しか出来ない、今だからこそやるべき活動をしっかり打ち立て、市民運動を前進させたいと考えています。

商店街応援プロジェクト 〈UD発見隊〉

NPO ふくしまユニバーサルデザインの継続事業であります〈第二回UD探検隊・商店街編〉が、商店街の皆さんの理解と協力のもと、会員・日大建築工学科学生（昨年も参加協力）により、無事に実施する事ができました。

今回の UD 探検隊は、昨年の 27 公共施設の UD チェックの反省を踏まえ、実施の狙いや趣旨、現場での方法や判断基準等、ワーク

〈FUD に思うこと〉



郡山商工会議所最高顧問 大高善兵衛
東日本大震災から、今日で 2 ヶ月を迎えました。

心よりお見舞い申し上げます。

予想外の津波による壊滅で、新しい街づくりが毎日のように新聞テレビを賑わして居ります。街づくりを根本から考え、検討し、知恵を出し合う時が来たようです。安心とか安全とか、そ

して住みやすい街づくりを皆さんで新しい時代に向けて勉強する時がやって参りました。

最も UD 発想が必要とされる時が来ました。世の中で「街づくりの先生」が、にわかに出番が多くなり、いろんな意見が溢れてきているようです。郡山の街づくりも「今はチャンス」と受け止め、いろんな発想を持ち寄りつくり上げることが大切です。

情報が溢れる時代の中でその整理をすることも大切な技術ですが、皆さんの知恵が生かされる時が今年の課題だと思います。生活の中でエネルギーの問題が最も取り上げられておりますが、改めて新しい時代の生き方を皆さんの知恵で構築してください。またとないチャンスです。

復元する、修理する、もとに戻すなどと、固定観念にとどまること無く新しい発想で、問題のコンセプトを議論して、またとないこのチャンスを生かして、住みよい街づくりに挑戦するのが UD のサークルだと思います。

新しい風を郡山に吹きこんで下さい。

UD のサークルは常に夢を追いかけている集団であるべきです。古きを生かし、未来に向けて良く他人の意見を取り入れる発想こそが皆さんに期待されています。津波はいろんなことを郡山に持ち込みました。不幸なことも沢山起こりました。そんな中で「郡山を新しく変えるキッカケ」をもたらしたことも、天の恵みと思い神に感謝し、この困難を乗り越えるのが大切です。他人の為に、人の為にお役に立つ時です。

皆さんが立ち上がる時がやってきました。歴史の中で記録に残る年になります。皆さんのご奮闘を切にお祈りいたします。

ショップを行いながら事前準備を徹底しましたので、非常にスムーズにチェックができ、参加者も納得のいく成果を得ることができました。

調査結果やアンケート集計からも、当初の狙いや成果が如実に表れ、このUD探検隊事業の社会的意義を一層実感することができました。この結果を商店街の魅力づくりに活かしていただければたいへん光栄です。

UD発見隊報告会・FUD総会(6月11日(土))に全員集合しよう!

■ UD 発見隊実施報告

■ 調査目的

本調査はユニバーサルデザイン(UD)の達成度を計測することを目的とするものではなく、生産者・消費者という垣根を越えて今後の「商店街活性化のための方策を(UDで)共に見出す」ことに重きを置いています。調査隊員には個店の魅力を発見していただくことで商店街にエールを! 協力店の皆さまにはハード・ソフトの両面からお客様目線で自己評価(セルフチェック)をして頂くことによって現状の問題点を把握し、工夫や配慮の対策をお考え頂くことを狙いとし実施致しました。



■ 調査対象

- 2商店街「駅前大通商店街/中央通り商店街」の個店15店舗(物販店・飲食店・サービス・美容店の4業態)
 - 上記に隣接した駐車場5カ所
- ※合計20カ所+街路

■ 調査団体・隊員構成

- NPO法人ふくしまユニバーサルデザイン(FUD)会員 5名
 - 高齢社会をよくする女性の会(郡山)会員 8名
 - 日本大学工学部建築学科(若井研究室)学生・大学院生 6名
 - 全体責任者(FUD理事長) 1名
- ◇「FUD会員」「高齢者」「学生」というメンバーで5グループ結成。

■ 15店舗の達成率(各店31項目で算出)

達成項目数平均…………… 23.6項目
達成率平均…………… 76.1%

- 31項目中23.6項目が達成されており、15店舗の達成率平均は76.1%と高い数値であった。
- 出入口の有効開口や段差・店内の通路幅は8割以上の店舗で達成されており、バリアフリー・UDに対する意識の高さが伺えた。
- 達成率が7%と最も低かったのはステップ1のソフト面の補助犬に関する項目であるが、同時に行ったヒアリング調査の結果受け入れは行われており、情報提供がなされていないだけであることが判明した。(勿体ない感あり!)

※報告書の一部です。発見隊参加者・報告会参加者に配布します。

■ UD こども出前講座 東芳小学校

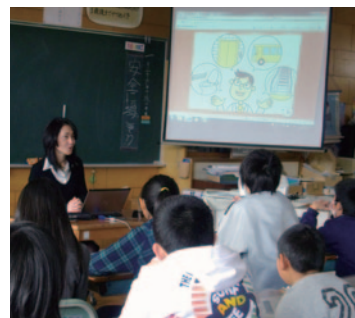
昨年の自販機を使用した、ワークショップに引き続き、2月25日(金)UD電子紙芝居で5年生20名にUDを学んでいただきました。遊佐先生・高橋先生にお世話になり、遊佐先生は昨年のワークショップでUDの知識をお持ちでしたので、「語り」を担当していただき、私が7つの原則と事例について質疑応答を担当しました。

先生の臨場感あふれる口調に生徒が引き込まれ、終始笑いの絶えない授業になりましたが、UDの事を少しは「考え、感じて」もらえたのではと思います。(事務局:千代貞雄)

■ UD こども出前講座 御代田小学校

FUD会員 小林 恵

日時 1月27日(木)
10:35~11:20
場所 御代田小学校
対象 第6学年23名
(男子15名 女子8名)
担任 佐藤康子先生
今回は「君たちがデザイナーだ!!」をキャッチに進めました。



対象児童の皆さんは第4学年時に、視覚障がい体験、第5学年時に自動販売機配置のUD学習を積んでいるので、今回「階段王国のエレベーター」を使って、UD原則の確認。と同時に、日常生活でUDに繋がる行動を確認。

今回の訪問時、卒業の近い彼らは4、5年生に各パートに分かれて鼓笛の指導中。これも助け合いの視点でUD、御代田小では、最高学年生は1年生のお世話役で第2のホームルームと言えるほど1年生の教室に入出入りしていて、棚の整理や給食配布のサポート、高い位置への掲示物の張り替え等々、体力、知力、体格をフル活用していることもUDの実践と確認。

更に、「階段王国のエレベーター」の画像の各所で、デザインの考え方、視点を解説し、大人は頭が固いので小学生のみんな一人一人がデザイナーとして気付きをどんどん増やし、学内のデザインは先生へ、町のデザインはFUDへ提供をお願いし、配布アンケートにもデザイン記入を依頼し終了しました。

校長室で待つこと20分程でA4用紙いっぱいデザインの種と、デザイン画が23枚届けられ感無量!! 彼らのこのエネルギーに私たちFUDはじめ、大人がどう答えて行けるか大きな宿題を持ち帰りました。

■ 第2回こおりやま市民活動交流フェスタ



去る2月11・12日、労働福祉会館で第2回こおりやま市民活動交流フェスタ(郡山市主催)が開催されました。郡山市内のNPO・ボランティア団体、町内会

などが参加し、市民の皆さんと交流しながら地域活動の大切さを知っていただくイベントです。初日には俳優の永島敏行さんが来郡し、ライフワークにしている米づくりと「青空市場」参加を通じたボランティア・地域づくりのエピソードなどを講演されました。わがFUDは他7団体と共にメインに用意されたUDコーナーに出展しました。ボランティア学生の協力を得、自販機ワークショップ、市内企業が開発中のコースの映像付きジョギングマシンの体験を提供しました。市長も自ら体験しマシンのユニークさに感心されていました。(事務局:小野塚彰宏)